

## <開催概要>

- ・日 時：令和5年9月26日（火）午後2時00分～午後4時00分まで
- ・会 場：鯖江市役所 4階 多目的ホール

### ・議事

1. 開会
2. 議事
  - (1) 鯖江市政に関する市民アンケート調査結果について
  - (2) 第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括について
  - (3) 鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）基本目標・基本施策について
  - (4) 将来ビジョンWEBアンケート調査結果について
  - (5) 将来ビジョン策定に向けたタウンミーティングについて
  - (6) 分科会について
  - (7) その他
3. 閉会

### ・配布資料：

- 資料1 鯖江市政に関する市民アンケート調査結果
- 資料2-1 鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）たたき台
- 資料2-2 （参考）第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI一覧
- 資料3-1 将来ビジョンWEBアンケート（中学生）
- 資料3-2 将来ビジョンWEBアンケート（高校生）
- 資料3-3 将来ビジョンWEBアンケート（一般）
- 資料3-4 将来ビジョンWEBアンケート結果の比較・分析
- 資料4 将来ビジョン策定に向けたタウンミーティングのまとめ

## 1. 開会

## 2. 議事

### (1) 鯖江市政に関する市民アンケート調査結果

資料1を事務局より説明

### (2) 第2期鯖江市まち・ひと・しごと創生総合戦略の総括

資料2-2を事務局より説明

委員	・アンケート結果は非常に興味深いと思っているが、これだけだと世代ごとにどう思っているの分からない。オープンデータ化の話であったが、その公開の時期を教えて欲しい。
事務局	・オープンデータ化は今月の中旬に出している。
委員	・アンケートの経年比較を見ると、概ね下がっている気がする。この辺りの考察を教えて欲しい。
事務局	・アンケートとKPIの数値にバラツキがある。物事を達成するためにKPIがふさわしくないことになる。今後もKPIについても分科会においてもより具体的に議論していきたいと考えている。
委員	・資料2-2のA3版表であるが、例えば16番と17番の「令和4年度末」について色が塗られていない。他にも同じような箇所がある。16番については「令和6年度末目標値」を達成しているので青の着色となると思うが、どうして塗られていないのか。
事務局	・16番、17番、39番については、「現状値の把握方法」のとおり国勢調査に基づく数値であり本年のデータではないので色を塗らなかった。
委員	・アンケートについて、1,000人にアンケートを出して回収されたのは409人の数値である。統計的な事は分からないが、低い回答率をもっているような方向性を決めて良いのか心配をしている。この辺りをどう捉えているのか教えて欲しい。
事務局	・総合計画等のアンケートで言うと4割は一定の評価できる数字と考えている。前回中間は5割だったので、回収率が下がったことについては残念に感じているが、統計的に一定の数値として捉えることが出来ると考えている。 ・年齢構成比について資料1の4頁に示しているが、先の総合戦略会議の中でより細分化するような指摘をいただいた年齢配分で実施した。傾向としては30歳代から60歳代、75歳以上は回答率が高く、逆に若年層の回答率は低い。 ・中学生や高校生、今回、将来ビジョン等を含めて、出来るだけ幅広い年代の方から意見をいただくようなアンケートを実施した。
委員	・追加したアンケートの集計は、今回含まれていないのか。
事務局	・本日資料3-1から3-4のところでは報告させていただく。
委員	・こちらのオープンデータ化も同じと捉えて良いか。
事務局	・左様である。

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ KPI についてお聞きしたい。たくさん KPI が並んでいるが、地方創生の総合戦略、デジタル田園都市にとって人口がとても大事な要素だと思う。それを端的に表す出生数と社会増減についてはいずれも悪化している状況で、この2つがマイナス。少し危機感を持たないといけないと思う。</li> <li>・ 景気の達成状況に関して、コロナの影響がどうなっているのかも関心がある。いろんな捉え方があるが、KPI に関してコロナの影響や今後どう変わっていくのかという見通しがあると、デジタル構想にしても何をすれば良いのかが見えてくる。その辺りの分かりやすい分類があると我々も策定しやすいと思う。作業が大変だと思うが、対応していただけると有難い。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鯖江市の出生数や社会増減については残念ながら減少の状況が続いている。なかなか解決することは難しい面もあるので、今後の会議の中で皆さんと議論いただきながら決定していきたいと思っている。</li> <li>・ コロナ関連の考察については、資料 2-1 の 9 頁「総括」で全体、基本目標毎に KPI 中心に考察しており、文面に「KPI 目標未達の 41 件のうち 21 件 (51.2%) が、「新型コロナウイルス感染症による活動の中止・縮小の影響」を原因」と理由を述べている。様々な制限が緩和された現在、徐々に業績は回復されつつあるが、コロナ禍以降の生活様式の変更を反映させながら、KPI についても変更を進めていきたいと考える。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ パッと見た感じ、SDG s 色が出ていないと感じる。戦略は SDG s がベースにならないと、他の政策と中途半端になる可能性になってしまうと思った。たたき台でありこれから取り入れていく予定があるかも知れないが、SDG s をどのように取り入れていくのか是非聞きたい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料 2-1 の 14 頁で、新たな鯖江市の基本目標を立てた中で、横断的な方針として SDG s とデジタルの力を活用した地方創生を捉えて基本施策を進めていく方針である。SDG s は欠かせない要素であると事務局でも考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料 2-2 であるが、KPI 自体の数値をどう設定するのかの話もあるので、達成したかどうかだけが重要ではないと思っている。例えば 5 番「新たな自社ブランド創出事業採択数」では、令和 6 年度末の目標値が 8 件に対して、既に令和 4 年度末で 15 件に達している。非常に注目すべき伸び率を示しており、鯖江市ならではの特徴が出ていると思う。同様に 13 番「女性起業家数」も同じようなことになっている。これらは鯖江らしさを象徴する動きとして、鯖江の魅力として強くアピールできるポイントだろうと思う。</li> <li>・ 一方で良くない話として、20 番「若者の社会減の抑制」、若者が県外に出ていってしまう、戻ってこない。これは鯖江市だけではなく福井県全体の問題。高校を卒業された方が県外の大学に進学する人が増えている。特に関西圏への流出が顕著に出ている。原因として、入りにくかった関西の有名私学に入りやすくなっている。推薦入学も沢山あって、そんなに学力が高なくても入れる状況になっている。若者が減っているから余計に若者が減る状況になっている。このような事が実際に起こり始めている。その辺りを心配しなければならない。福井県自体の政策も追いついていない。鯖江市として別の観点から魅力を伝えていく努力が必要とな</li> </ul>

	るような感想を持った。
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性活躍という言葉が多く出ている。資料 2-2 では女性活躍に関しては、女性が役職に就く、女性起業家、男性の育児休暇が見受けられる。数値で言う達成率は簡単だが、それを達成した後のその家庭、例えば役職に就いた女性が多くなってくると、そのしわ寄せがその家庭で出てくると思う。その辺りが大丈夫なのか。</li> <li>・女性起業家の数が増えていると言うが、どのような数字を持って起業数をカウントしているのか。女性起業家が起業した上で、本当に3年、5年創業を続けているのかが気になる。本当の創業支援が出来る市になれば良いと言うのが私の願いである。</li> <li>・もう1つは男性の育休率。これを取得することで本当に女性が満足しているのか。達成した後の家庭で本当に幸福度が上がっているのか、今後踏み込んで見て行けると良いと思う。</li> </ul>
事務局	・今の意見については、これからの分科会等で検討・議論させていただく。
委員	・達成できた後、これでよしとして、後に急に駄目になってしまうことがある。木目細かい対応が必要であり、とても大事なことだと思う。
委員	・これから結婚しようと思う若者たちは、結婚や子育てはコストパフォーマンスが悪いと言う考え方をしているので、結婚や出産、子育てしやすい環境を整えても意識がない子にいくら伝えても成果として結びつくのかは疑問に思っている。皆さんの意見を聞きながら考えていきたいと思う。
委員	・そこについては皆が考えているけれども、何一つ有効な手当てがないところであるが、諦めずにやれることはやっていく環境を整えていくことは必要である。

### (3) 鯖江市デジタル田園都市構想総合戦略（仮称）基本目標・基本施策

資料2-1【基本目標I】を事務局より説明

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本目標と基本施策の体系図を見た時に、メガネと河田は鯖江ならではの、他の地域で言えることが多く全然面白くないと言うのが第一印象。デジタル田園都市の総合都市戦略と言うことで、デジタル人材の育成確保があるが、鯖江市全ての小学校でプログラミングをやっていたおり、教える人も地域の人達で賄っており、全国でも珍しいので、このようなことを盛り込んだ方が良いと思う。</li> <li>・前回の第2期ではオープンデータやITを取り入れていたが、今回は消えている。前ほどやれていないのかも知れないが、だったらやればいいだけの話。強い部分を特徴として、前に出していけばいいと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その通りだと思う。</li> <li>・基本施策を並べていく中で17頁の計画期間の方向性（実施施策）と手段では、「企業の経営基盤の強化」「創業等の支援」を書いているが、実施施策のところはSDGsの取組みのどこに貢献できるのかをしっかりと表現して、次回の時には埋め込んでいきたいと思う。</li> </ul>
委員	・資料15頁と21頁において、企業誘致やサテライトオフィスの誘致についてはIT

	<p>企業を中心とすると書いてあるが、ここにもデジタル人材の育成に繋がってくると思っている。私たちも IT 企業を誘致する時には、鯖江市内の全ての小学校でプログラミングを行っていることや 5～15 年後を見て欲しいと言っている。このような人材が育成されていると言うことは、企業側にとって凄い強みだと思う。東京では全然人材が取れていない状況である。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料 14 頁の「基本目標・基本施策の体系図」を見ていると、基本目標ⅠとⅡが「SDGs の推進」、基本目標ⅢとⅣが「デジタルの力を活用した地方創生」になっている印象を受けたが、DX も SDGs に当てはまると思う。引き離して戦略を考えていくことなのか。</li> <li>基本施策の各項目に「魅力」という言葉が多く見られる。何が魅力的なのか良く分からない。一言で終わらせてしまうと、もったいない気がする。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>誤解を招くような表記になっているので検討させていただく。当然ⅠとⅡ、ⅢとⅣで分けるつもりはない。</li> <li>基本施策については面白くない物言いになっている。今後分科会等で議論していく中で、基本目標の表現を含めて、役所言葉ではなくて、面白い表現やワードを取り入れて、若者からお年寄りまで興味を持っていただけるように作り上げていきたい。事務局案が通るのではなく、全て変えていただくようなつもりで分科会を行って欲しいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>大いに叩いて下さいと言うことなので、次の分科会で活発な意見をいただきたいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>尖っていないと面白くないことについて、説明を聞いて感じたことは国が作った構想に即した言葉が多かったような気がする。以前の地方創生総合戦略の時は、他の地域が人口減少に直面している中で鯖江市は人口が減らない町的な感じで、むしろ市の取組が国より遙か先を行っているような気があったような気がした。もともと IT の町との意識が市の中にあり、鯖江市はデジタルにおいてかなり先を行っていると思う。国に追随する形から、市民がやっていることを如何に計画に入れ込んでいくのかの目線を持った方が良いと感じた。</li> <li>今回、地方創生からデジタル田園都市構想に変わって感じるのは、鯖江市の人口が増加から減少の局面になっている中で、デジタルは人口減少を食い止める手段であるが、人口が減っても生活できるための手段でもある。今回デジタルを入れた地方創生は、これまで多くの地域や国が言えなかった、人口が減っても生活が成り立つような政策も打ち出していく、積極的に切り込んでいくことも、1つの鯖江市の尖り方だと思う。大きな方向性として、分科会を含めてこのような意見が出てくることを期待している。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>鯖江らしさ、やっていることが実は進んでいることをしっかりと計画の中に落とし込んでいく。国に準じてと言っているが、あくまでデジタル要素を総合前略の中に計画の中に落とし込んでいきたい。人口が減ってもデジタルを使うことによって人の暮らしが豊かになるような目線が必要である。今の意見をしっかりと新しい総合戦略の中に溶け込ませていきたいと思う。</li> </ul>

資料 2 - 1 【基本目標Ⅱ】を事務局より説明

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本施策 1 「若者の夢を応援するまち」についても、今やっていることが反映されておらずもったいない。現状に書いてある「若者による創造力を市政に活用する事業に注力してきました」とあるが、地元の学生がやることは当たり前である。鯖江の強みは、大学のない鯖江。実際にアートキャンプや津田塾等いろいろやっているの、地元の若者はもちろんのこと全国の若者による想像力を高めていくなど、やっていることを盛り込んで欲しい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>やっていることをしっかり現状として表記したい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>「さばえ SDG s 部との連携」、この文章で市と学生との連携が見て取れるが、折角学生団体が市以外のところと連携しているのに明確になっていなくもったいない。文章に取り入れることが出来るなら反映して欲しい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>対応させていただく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本施策 5 に関連して、RENEW（リニュー）のことは書いてあるのか。オープンファクトリーなどの産業観光のことか。“日本最大規模”とか“何万人集客している”など、事実なところをもっと出した方が良い。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>その通りである。表記の仕方はこちらで工夫させていただく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>商工会議所でやっているイベントが、デジタルを活用して画期的だと思う。地方であれだけ積極的なイベントはない。多くの人を集客するタイプのイベントではないが、新しさや独創性の点で注目すべきで、もっと認知度が上がって欲しい。このようなイベントが出来るくらい意識が高い人達がいることを何処かに書いて欲しい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政の方で把握しきれていない部分、自分達の活動や取組み等をもっと自慢していただき、記載していきたいと思う。鯖江独特の取組みをここで上手く表現できていないことはあるので、分科会等で皆さんの活動を教えていただきながら上手くアピールしていきたい。</li> </ul>

資料 2 - 1 【基本目標Ⅲ】を事務局より説明

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本施策 5（資料 55 と 56 頁）の細かい説明に、「性別や年齢、障害の有無を問わず」と書かれているが、多様性で外国籍や海外の方はどのように戦略に取り入れるのかが気になっている。特に新幹線が開通したら、外国人の観光客や移住者も増えてくると思う。書き方を変更することは可能かどうか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>配置を工夫して外国の方の表現を入れて修正させていただく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>鯖江市のことを多分知らない方も多いと思うので、いろんな方に見てもらえるように冊子や抜粋版を作ると思うので、英語版や鯖江市にはベトナム人が多いので他の言語に対応できるようにしたら良いと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本施策 2 「働きながら子育てができるまち」の説明で、何を何に変更したのか聞き逃したので教えて欲しい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標Ⅰの基本施策 4 「女性が輝くまちの想像」では女性の企業や労働の施策を中心に表現しており、仕事に重きを置いた書き方になっている。これと同じ</li> </ul>

	<p>ように考えなくてはならないのが、働きながら子育てができる、育てやすい、暮らしやすい取組みも必要であるので、もともと1つにあったものを2つに分けて基本施策2「働きながら子育てができるまち」と連携をさせていただいた。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どちらも大事だが、“ながら”の表現が妥当なのか。子育てや仕事が中途半端になってしまうような気がする。現状にある「女性が仕事と子育てを両立できる環境」について、私は女性創業アドバイザーをしているが、“仕事と子育ては両立できない、両立しようと思わないで”と話している。両立しなさいと言う圧がかかってくると思う。女性の意見を拾っていただいて良い表現を考えて欲しい。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫して表現させていただく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人事業主でも起業なのか。NPOでも当てはまるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人事業主も起業である。男性が想像するような会社を立ち上げるような起業ではなく、自分のできる範囲のこと、例えばハンドメイドショップやネイルサロンの立ち上げなど、お金をかけない起業が多い。指標をとっている起業家数は個人事業主として届けられている数である。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人事業主の方はインボイス制度が始まるのでたちまち苦勞される。その辺りに対する木目細かい援助ができないのかと思うが。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月からインボイス制度が始まる。個人事業主、特に鯖江市は漆器業界などの中小零細が多く大きな問題である。新年度に向けての支援策を含めて考えてまいりたい。</li> </ul>

資料2-1【基本目標Ⅳ】を事務局より説明

委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「魅力あふれるまちなかの創造」では、もっと鯖江らしいものを出した方が良いと思っている。まちなかに和菓子屋が非常に多く、また神社やお寺も多い。これは鯖江ならでは。その辺りをもっと盛り込んだ方が良いと思う。ショッピングセンターを作っていくのは簡単だが、そこにしかない歴史文化をどう活かしたまちづくりをしていくのかがこれから問われていると思う。インバウンドなど外に向けてもそうであるが、そこにいる人に誇りを持ってもらう事が大前提。知ってもらうことを伝えていかないと、大事さも伝わっていかない。この辺りをしっかり盛り込んだ方が良いと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対応させていただく。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・61頁「基本施策2」であるが、居住誘導区域は第2期からあったものだと思うが、鯖江や県外関係なくここに居住を誘導して、コンパクトシティを追従すると言うことか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここの居住誘導区域内と言うのは、団地等の整備をこの区域内に誘導して人口を集中させていく形で考えている。市内で新しく住宅を建てる方、県外や市外から移住される方も関係なく誘導することを考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちなかの創造から外れた意見であるが、北中山（東部）の人口減少が顕著である。“まちなかに取られるといやだな”とつまらないことを思った。住宅地や商業地などの中心地区を中心とする戦略が出来ているような気がして、そうなる田園都市に住んでいる人が取り残されるのではないか。また分科会で意見する機</li> </ul>

	会があればさせていただく。
事務局	・居住誘導地区をまちなかだけではなくて、都市計画で用途地域が決まっている中で、今空いている区域をまちの発展のため整備を進めていくような誘導を図っていきたい。
委員	・「鯖江る！」とは、どのようなイメージなのか。
事務局	・造語である。“鯖江”“栄える”“映える”を含めている。将来的に鯖江が栄えていくことを表現している。これが良いと言う思いではないが、事務局案として提出させていただいた。
委員	・意味が分からない、間違っていないかと思われるので、どのように捉えて欲しいこともあわせて書いて欲しいと思った。 ・作成ツールはワードなのか。対応していなくて非常に読みづらい。このようなところから DX をして欲しい。 ・KPI 等の関連データの数値的は大好評に見えるが満足度は低い。所詮マイナンバーで出来ることは限定されているので、そうでないところを切り込んでいくことを市民は求めていると思う。
事務局	・会議の冒頭でも KPI の満足度が合致していないとの指摘をいただいたので、しっかりとアンケートに添う KPI の設定を協議させていただきたい。
委員	・安心で快適で魅力的なまちをつくるの中で、基本施策4「強靱で安全・安心なまち」の現状を見ると、自然災害がメインであるような気がする。私は金融機関にいますので、犯罪が高度化しており大問題である。毎日、詐欺等の相談が何件もある状況である。安全のワードで括るのであれば、そういった面も不可欠だと思う。
事務局	・安全安心については、基本目標Ⅲの基本施策5「誰もが自分らしく安心して暮らせるまち」で消費者法の推進として掲げている。「強靱で安全・安心なまち」でも再掲として挙げて両方の事業として計上していきたいと思う。
委員	・IT が強調されているが、一方で鯖江の伝統産業や中小企業がたくさんある中で、人材不足が言われている。IT 化や DX 化が本当に必要な場面だと思うが、必ずしも行き渡っていない。得意だと言われる IT 化を鯖江の中で、必要なところに回していくことも重要な戦略であると思う。
事務局	・鯖江市内のどの企業も人が雇用出来ないと聞いている。特に若い方が雇用出来ない。IT 化は必要不可欠で早急に取り組んでいかないといけないと、市でも認識している。いろいろ問いかけるが、まだ IT や DX の言葉になじみのない企業もたくさんある。先ず、困りがないかの相談を受けて、身の丈にあった IT を支援している。ハードルが低い補助金から高度な次元での支援等のメニューを準備している。金銭だけでなく、高専とも連携している状況である。
委員	・産業技術総合研究所（産総研）の北陸デジタルものづくりセンターが日本海側で初めて福井県の春江町に出来た。そこには繊維に関する最先端の機械を揃えていて、ヘルスケアを進めるために使える繊維産業の活用する手はない。大学等と共同研究を組むと国から研究費も出る形となっている。ぜひ活用して欲しい。
事務局	・産総研がオープンして早速視察も行った。既にメガネの会社が共同で取り組んでいる会社もある。どのような研究、どのように活用ができるのか広めていきたい。



#### (4) 将来ビジョンWEBアンケート調査結果について

資料3-1～4を事務局より説明

#### (5) 将来ビジョン策定に向けたタウンミーティングについて

資料4を事務局より説明

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・次回の総合戦略を11月に予定しており、その時に将来ビジョン等の初稿を提案したいと考えている。それまでに各委員にはアンケートをしっかりと目を通した上で意見等をいただきたいと思う。</li></ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・質問や分からないことがあれば、直接事務局まで問合せで欲しい。</li><li>・予定していた議事は以上である。</li></ul>

#### (6) 分科会について

10月開催予定の分科会に関する資料を配布して事務局より説明

#### (7) その他

事務局	<ul style="list-style-type: none"><li>・長時間にわたり有難うございました。</li><li>・アンケートのところで申しましたが、11月中に改めて鯖江市総合戦略推進会議を開催して将来ビジョンの諸法について協議いただく場を作らせていただきたいと思う。日程については早めに通知をさせていただく。</li></ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・せっかく商工会議所から見えているので、今日の会議を聞いた意見を一言いただいたらどうか。</li></ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・長時間にわたって活発なご議論有難うございました。</li></ul>

### 3. 閉会

委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・以上をもって、第2回鯖江市総合戦略推進会議を閉会とする。</li></ul>
----	---

( 上 )